

鏡川流域パートナーシップだより No.161 R6.7.19



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「いきものや」×「高知大学野生生物研究会」×「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう」



7月18日(木)、高知大学同好会「いきものや」と高知大学サークル「野生生物研究会」の学生さんと一緒に、スマホアプリ「Biome(バイオーム)」やまちのコイン「ぼっちり」を活用した連携について意見交換を行いました！

本課では、「Biome」の「クエスト」という機能を活用し、8月1日(木)から8月31日(土)までの期間、鏡川流域に生育・生息する動植物を調査するイベント「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう」を開催します。このクエストをさらに盛り上げる取組について、2団体それぞれの活動内容を踏まえ、「できること」のアイデアを出し合いました。

☞学生の皆さんは、市職員から「Biome」や「ぼっちり」の概要を聞いたあと、さっそくアプリをインストール！

「ぼっちり」の体験チケットの利用や、スポット加入などの手順をスムーズに進めます。



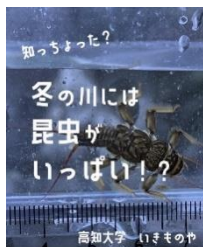
＼2団体が「ぼっちり」にスポット登録／



☞「いきものや」からは、昆虫の名前を当てるクイズの体験チケットが発行されています！

Instagramでも多数投稿されている水生生物などの写真や動画を活用して、ユーザーとの関わりを表出！

体験の発行から3時間以内に、高知市内・外のユーザー8名がクイズに挑戦しています！



☞「いきものや」では、市民等を対象にしたイベントを不定期で開催し、身近な動植物について楽しく理解を深めてもらう機会を作

っており、Instagramではクイズや豆知識が多数投稿されています！

☞「野生生物研究会」では、各部員が関心のある生きものを採集したり、部員同士で集まって川などに出かけ、動植物を観察したりと、日常的に自然に親しむ活動を展開しています。



Instagramでは高知で見られる生きものなどが紹介されています！

活動内容はそれぞれ異なりますが、2団体とも、『Biome』は動植物を観察する際に役立ちそう。『ぼっちり』を活用することが活動の情報発信につながりそう。ぜひ一緒に取り組みたいという前向きな姿勢を示してくれました！今後も情報交換をしながら連携を続けていきます！



☞「野生生物研究会」からは、ユーザーに好きな水生生物を答えてもらい、交流を生み出す体験チケットが発行されています。すでに多数のコメントが届いています！



- トラフカラッパ。水族館で見て、各部位のぴたり具合がめんこいなあとと思っています。
- エビが好きです！苔を食べたり、よくわからない飛び回り方をしたり、とてもかわいいです。
- アオミノウムシ(ブルードラゴン)。クラゲを食べてその毒を貯めて、毒のある生物になるという、フグと同じ手法が面白いから。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android